

思いが道を拓く！



「精強・即応」こそが自衛隊

自衛隊大阪地方協力本部 渉外広報室 広報班長 3等海佐 古藤賢作さん
にお話を伺ってきました。

お仕事内容



古藤さんが働いている自衛隊大阪地方協力本部は、陸・海・空3自衛隊の共同機関です。主な仕事内容は、自衛隊員の募集、退職自衛官に対する就職援護、広報活動です。その中で古藤さんが担当しているのは、大阪府民の皆さんへの広報活動です。具体的な活動としては、イベント、艦艇公開、中学生に対する職場体験活動などです。

なぜ自衛隊？

陸上自衛隊の幹部であったお父さんの背中を見て育ったのが大きかったそうだ。毎朝、制服で出勤する姿をずっと見てきて、「頼もしい！かっこいい！」との思いから、「国の防人として、活躍したい！！父のようになりたい」と思ったのがきっかけであった。

なぜ海上自衛隊??

古藤さんは、海上自衛隊の幹部として活躍されている。なぜ、海上自衛隊を選んだのだろうか？最初は、父と同じように陸上自衛隊に行くものだと思っていたが、中学生の頃に『トップガン』や『愛と青春の旅立ち』などの海軍を取り上げたアメリカ映画に憧れたことがきっかけだったそうだ。トムクルーズやリチャード・ギアに惹かれるのも納得です！



自衛官になるためには???

現在自衛隊では 23 万人の自衛官が活躍している。そのうち 5 %が女性自衛官であり、現場で多くの女性が活躍されています。現在では女性にもパイロットの門戸が開かれている。



自衛隊は階級社会で、部隊の指揮官である幹部と部隊の中核である曹士の大きく 2つのグループに分かれている。自衛官になるためには多種多様な道がある！防衛大学校からだけではなく、中学校卒業から一般大学卒業までどの道からでも、思い立ったら道が拓ける。学部学科は関係なく、どの分野の方でも受験可能です。自衛隊は組織の活性化のために、色々な分野の才能を必要としている。

職種は多種多様！

自衛官は、各領域のプロフェッショナルとして活躍する！自衛隊はマンパワーを大事にしており、隊員の教育を重視している。自己完結的な組織＝自衛隊であると語る古藤さん。全てのことが自分達でできる、つまり色々な職域が必要なのである。そのため、自分の適性にあった職域が必ず自衛隊には存在する。

挫折経験！思いが道を拓いた！

大学浪人(2年)・就職浪人(1年)という 2つの挫折を経験した古藤さん。しかし、自分が描く理想像、「こうなりたい！」という思いは譲れず、楽な道に行こうとは思わなかったそう。モチベーションを保つのは、決して簡単ではなかった。全ては“思い“であると古藤さんは語る。「自分はこうなりたい！」という”強い思い”が道を拓くのだ！浪人中は、毎日格闘していた。逃げたいけど逃げられなかったと答えてくれる古藤さんの根底には、何が何でもなりたいのだという”強い思い”があったのだった！「全ては自分！自分の考え次第で人生 180 度変わる！辛いことを乗り越えた時に見える煌びやかで美しい世界を見て欲しい！」と力強く訴えてくれた。苦勞して幹部候補生試験に合格したときの嬉しさは天にも昇る想いだったそうだ。だからこそ、仕事で辛いことがあっても絶対やめない、やめたくないのだと言う。



苦勞話！

幹部候補生試験に合格して、広島県の江田島にある海上自衛隊幹部候補生学校に 1 年間入校した。そこでの生活は肉体的・精神的にかなりきつかったそうだ。自分の時間がなく、

分刻みのスケジュールに、初日で挫折しそうになり、「辞めてしまおう！」とも考えたと言う。しかし、自分一人ではなく、同期生と切磋琢磨したからこそ、乗り越えられた。絆が深まり、一緒に過ごした同期は今でも、特別な存在であり、「こいつのためなら一肌脱いでやろう！」同じ釜の飯を食った同期だからこそ、芽生えた気持ちは今も大事にしている。逆に、あの一年があったからこそ、何でも今乗り越えられる。江田島での1年は海上自衛官としての原点なのだそうだ。

醍醐味！

潜水艦乗員となり、防衛の最前線で活躍。海外の海軍との共同訓練のために、シンガポールとハワイへ！言葉はやはり苦勞するのだが、海という自然を相手にしている男同士通じるものがあるという古藤さん！このことを **Navy to Navy** と言って、ハートとハートの繋がりを表す言葉なのだそうだ。訓練が成功したときは、最高の充実感を味わったと語る古藤さんの顔は輝いていた。また、様々な任務を完遂したときにも、もちろん素晴らしい充実感が生まれる。その積み重ねで満足感が得られ、醍醐味につながっているのだと言う。小さな仕事を積み重ねないと大きな仕事はできないと教えて下さった。



学生たちへの3つのメッセージ・エール！

1. 今、この時を大事にして欲しい！悩んだり、上手くいかなかったりする時もあるけど、今この瞬間を充実させて欲しい。
2. 色々な人に出会い、色々な経験をして、広い視野・バランス感覚を身につけて欲しい。
3. 自衛隊は中学を出てから、高校を出てから、また一般大学を出てからと、いつからでも、興味を持ったところから受験できる。自衛隊は、いつでも皆さんを待っている組織です！非常にマルチな職場で必ず自分に合った職域に出会える。自分のやる気さえあれば、どんどん道が拓けていく！それが自衛隊です！



自衛隊大阪地方協力本部 HP <http://www.mod.go.jp/pco/osaka/index.html>

学生記者後記（京都女子大学・文学部・英文学科・赤澤翔子）

普段あまり深く知る機会のなかった自衛隊の裏側の世界やお仕事の醍醐味など、大変貴重なお話を伺うことが出来ました。古藤さんの“思いが道を拓く”という言葉のように、私もこうなりたい！絶対なるんだ！という強い思いを常に抱いて、自分の力で自分だけの道を切り拓いて行きます！

